

TSUNAGARI Magazine

Kizuna

金沢星稜大学同窓会誌

2013/8
Vol.24

同窓会会員
現在
16,951名

金沢星稜大学

新

館始動

ますます活気溢れるキャンパスに



星稜100年ビジョン 星稜の人間教育を、 地域へ、世界へ

学校法人 稲置学園副理事長
稲置 慎也



本年4月に稲置学園副理事長を仰せつかり、皆さまの期待に応えるよう毎日教職員とともに一生懸命働いているところでございます。昨年の学園創立80周年で宣言しました「星稜100年ビジョン」の実行をはじめ、学園の持続的発展のために鋭意努力してまいっている所でございますので、同窓会の皆さまには今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。

さて、金沢星稜大学の近況についてご報告したいと思います。入試においては、少子化に伴う18歳人口の減少が進み、大学を取り巻く環境は大変厳しい状況ではございますが、ここ数年はすべての学部・学科において入学定員を上回る入学者を受け入れることができています。近年は、女子学生の入学が増え、今年度の女子学生の比率は43%にのびります。また、就職の取組については評価をいただき、新聞、テレビ、雑誌等で頻繁に報道され、CDP（キャリア・デベロップメント・プログラム）による公務員、税理士及び教員への合格についても着実に結果を出してきております。課外活動では、サッカー部が練習場の確保に苦勞しながら

も、17年ぶりに内閣総理大臣杯（全国大会）出場を決めました。

これからは、教育においてもますますグローバル化が進み、社会のニーズの変化も早くなります。入試、キャリア教育、就職等における従来の取組に磨きをかけるとともに、文部科学省の中央教育審議会から答申があつた「学士課程教育の構築」や「新たな未来を築くための大学教育の質的転換」などの教学面の改革改善のスピードを上げていかなければなりません。大学は学園の牽引役を担っております。これからの大学の問題については、学長とともに先頭に立つて取り組んでまいります。もちろん、他にも設置学校の教育、学園の財政、地域貢献といったことも責任をもって、皆さまの意見を聞きながら先頭に立つて取り組んでまいりたいと思います。

稲置学園の創立100年、150年に向けた新しいステージを、高い目標をもって教職員とともに築いてまいりますので、同窓会の皆さまには引き続きご協力ご支援を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

星稜100年ビジョン宣言

建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」のもと「星稜の人間教育」をさらに発展させ、世界・日本が求めている解決すべき課題や問題に対して自らチャレンジして行動できる人材を育成・輩出することで地域・社会に貢献する、「北陸を代表する総合学園」をめざします。



★星稜100年ビジョン基本方針「5つの柱」

1. グローバルに活躍できる人材を育成する。
2. 総合学園としての一貫した教育を行う。
3. 地域・社会とともに発展できるネットワークづくりを行う。
4. 充実した施設に恵まれたキャンパスづくりを行う。
5. 総合学園を最大限に活かす経営基盤のさらなる確立を行う。

Since 1932

星稜

星稜コミュニケーションマーク

「星稜100年」への思いを込めて策定された星稜コミュニケーションマークは、学園の全構成員が心をひとつにするシンボルとして、また学園の地域・社会とのコミュニケーション活動を強化するものとして今後広く活用し、「星稜ブランド」の価値を高めていきます。

ホームページでも公開しています
<http://www.seiryō.jp/80th/>

大学卒業生初の国会議員が誕生！ 衆議院議員 助田重義さんインタビュー

金沢星稜大学（旧・金沢経済大学）の卒業生として初の国会議員となった、衆議院議員・助田重義さんにお話をうかがいました。

国会議員になられた経緯と 現在のお仕事を教えてください。

私の故郷である福井県の自民党県連で、17年間事務職を務めていました。地元に貢献したいという思いが強く、非常にやりがいのある仕事だと感じていましたね。実は、当初は国会議員として表舞台に出るつもりはなかったんです。裏方の事務職として、地域のために働くことができればいいと思っています。

今、こうして衆議院議員となりましたが、立場は変わっても、やはり私は故郷に貢献することを大切にしたい人間なのだと実感しています。現在、自民党の資源・エネルギー戦略調査会の事務局次長、農林水産流通・消費対策委員会の事務局長を務めているほか、日本の国土軸を太平洋側だけでなく日本海側にも作るうと活動しています。アジアを通じて世界への玄関口と

なる日本海側が整備されれば、日本はもつと元気になるでしょう。そのために、微力ながら力を尽くしたいと思っています。

今振り返ると、大学時代は どのような意味を 持っていますか？

稲置学園の建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」は、大学在学中にはほとんど意識したことはありませんでした（笑）。年齢を重ねた今はとても共感し、同時に自分を戒める言葉となっています。国会議員となつて、それまで以上に多くの人と接し、お話しさせていただく機会が多くなりました。また、政治家としてこれからも多くのことを勉強していかなければなりません。その時に大切なのは、私自身がどれだけ誠実な人間でいられるかどうかだと思います。人とは誠実につきあっていきたい、仕事には真面目にコツコツと取り組みたい。そういった自分の性を、政治家になつても決して忘れずにいたいと思っています。

このように考える私という人間の基礎は、大学時代に培ったものなのかもしれません。ひとりの社会人として、人や仕事との



真摯な向きあい方を学んだことが、私が大学時代に得た財産と言えますね。

稲置学園で学ぶ後輩たちに メッセージをお願いします。

もうひとつ、私が大学時代に得た宝物があるんです。それは、友人です。学生の頃の友人たちとは今もつきあいがあつて、私が当選した時にもすぐにお祝いの電話をくれるなど、今なお私を支えてくれる大切な存在です。

金沢星稜大学の皆さん、社会に出る前に得た友だちは一生の宝物になります。勉強も大切ですが、人間関係はそれ以上に大事だと言つてもいいでしょう。今しかない学生時代を、仲間たちと一生懸命に過ごしてください。

稲置学園は、今も私にとつて誇れる母校。これからも誠実な、地域のために活躍できる人材を育てていつてほしい。心からそう思っています。

富山県支部長 新任挨拶

金沢星稜大学同窓会
富山県支部 支部長

新原 俊夫



平成24年11月富山県支部定期総会におきまして若林前支部長の後任に支部長に選出されました新原です。

現在富山県内には同窓生2500名ほど在住していると思われます。今日まで富山県支部が果たしてきた役割を充分配慮し、今後の富山県支部の果たすべき役割を皆で考え、知り合いを広める為にも親睦の機会を作りながら「絆」を深めて行きたいと思っています。

今年も11月3日（祝）射水市の松原屋にて富山県支部総会・懇親会を開催いたします。同窓生の皆様のご出席をお待ちいたしております。

結びに、今後も富山県支部の更なる発展に全力を注いでまいります。皆様のご協力、積極的参加を賜りますようお願い申し上げます。

星大サッカー部 全国にチャレンジ!!

17年ぶり3度目の総理大臣杯本大会出場権を獲得!!

金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科
金沢星稜大学サッカー部主将

内田 錬平

我々、金沢星稜大学サッカー部は、皆様のたくさんの応援ご支援のおかげで、第37回総理大臣杯全日本サッカー選手権大会（北信越大会）で優勝し、全国大会への出場を決めることが出来ました。今回の北信越予選には18校が参加し、本学は昨年のリーグ戦順位（第3位）により予選免除で決勝トーナメント2回戦からの出場でした。初戦の福井工業大学戦では延長戦の末、3対2で勝利し、続く準決勝の新潟経営戦でも先制される苦しい展開の中、3対1で勝利。そして北陸大学との決勝では、前半で2点を先制されながらも後半残り2分で同点に追いつき、延長戦でも決着がつかず、PK戦へともつれ込みました。北陸大2人目がクロスバーに当て、3人目を本学GKがセーブ。本学の選手は4人全員成功し、17年ぶりの北信越代表を勝ち取りました。総理大臣杯全国大会は、大学名が「金沢経済大学」だった1993年と1996年の2回出場し、今回で3度目の出場となりますが、2002年に「金沢星稜大学」に大学名が改称されたため、大会規定上、初出場扱いになります。

本学サッカー部の特徴は、チームで相手に勝ることです。個の能力では他チームに劣る分、全員サッカーを心がけています。全国の舞台で星稜大学のサッカーがどれだけ通用するのかが楽しみです。試合では多くの人が感動できるような姿勢で、北信越代表として頑張ります。

全国大会初戦は、広島修道大学に決まりました。会場は大阪のJ-GREEN堺で、8月8日（木）15時30分キックオフです。皆様応援よろしく願っています。

金沢星稜大学サッカー部監督

小松崎 保

私は、2005年に金沢星稜大学サッカー部の監督に就任しました。私が最初にしたことは、社会に認められるチーム・人を目指す！という事を掲げ規律を作ったことです。そして、自分のサッカー観を伝えて学生の気持ちを自分に向けて事ができれば、強いチームが作れると思っていました。しかしながら、年を重ねることに疑問が生じ始めました。ここはサッカーのプロチームでもないのにこれだけのか？と5年前から思い始め、少しずつですが学生主体のチームへの改革をしてきました。そして、就任9年目で17年ぶり3回目の全国大会出場を決めました。私にはこの9年間が必要だったのだと思います。今では学生が、ゲームを分析し、試合に勝つための練習方法を考え、ゲームプランを立てて試合に臨むようになっています。監督は、ゲームに出場する選手を決めているだけです。優勝しても、『サッカーを通じて人間を育成する』という信念はブレずに学生たちと学んでいきたいと思っています。これからも、応援を宜しくお願いします。



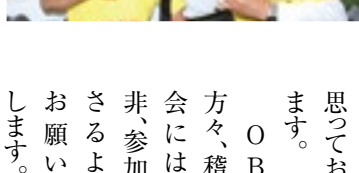
ました。私にはこの9年間が必要だったのだと思います。今では学生が、ゲームを分析し、試合に勝つための練習方法を考え、ゲームプランを立てて試合に臨むようになっています。監督は、ゲームに出場する選手を決めているだけです。優勝しても、『サッカーを通じて人間を育成する』という信念はブレずに学生たちと学んでいきたいと思っています。これからも、応援を宜しくお願いします。

Topics

学園同窓会主催の記念事業 「星稜祭」開催される

稲置学園創立80周年を記念して行われた「星稜祭」は平成24年9月22日（土）・23日（日）の2日間に渡り、しおきの迎賓館横の広坂緑地に開催されました。両日合わせて6000人にものぼり、多くの同窓生や在学生やその家族らで賑わいました。

幼稚園から大学までの同窓生と在学生が模擬店を出店し、からあげ・焼きそば・星稜牛丼・星稜居酒屋、さらに「さぶろうべい」「ゴーゴーカレー」「白山そば」等馴染みの深い飲食店もブースに並び、好評を得ていました。大学同窓会からはピラフ・ドライカレー・チャーハンを販売し、準備していた分が途中で全て売り切れとなり買い出しが必要になるなどの盛況ぶりでした。ステージではプロとして活躍するOB・OGのバンド演奏をはじめ、お笑いライブ、大学サークルのダンスパフォーマンスや高校吹奏楽部とチア部らの共演等、総勢380人が会場を盛り上げ、在学生と同窓生が一体となって学園の絆が深まったイベントとなりました。



Topics

金沢星稜大学星剣会 （剣道部OB会）の近況

金沢星稜大学星剣会会長

中川 泰一

大学設立より創部された剣道部は、常に北信越では上位入賞を遂げており、全日本大会出場もしています。創部された頃は、星稜高校の卒業生が占めておりましたが近年では、北陸三県のみならず全国から入学、入部しています。OB会としても、学生との交流を深める為に、年3回ほどの稽古会を開催したりしています。今年、初めて星剣会（OB会の通称名）で新春金沢森本大会に出場しました。選手は、卒業後剣道を継続している人もいれば、ブランクがある人もいましたが、いつもの稽古とは違い試合の感覚がなかなか掴めず、1回戦負けとなりましたが、次の出場する試合は「必ず、勝つ」の目標で個々のOB達は稽古に励んでいると思います。長く継続出来る剣道をより多くのOBの方々に薦めて、稽古会で現役の学生達との交流の場を今後も提供出来れば良いと思います。お待ちしております。

OBの方々、稽古会には是非、参加下さるようお願い致します。



平成25年度 理事会・理事懇親会が 開催されました

日時 平成25年6月23日
午後4時～7時
場所 ホテル金沢

理事会では次の議案について
承認されました。

議案

- 1、平成24年度決算報告・事業報告
- 2、平成25年度予算(案)・事業計画
- 3、慶弔金・見直しについて
- 4、大学同窓会在り方検討特別委員会(案)設置について

報告事項

学生活動奨励賞・
富山県支部長交代について等

理事会終了後、
懇親会が開催されました。

来賓として、稲置理事長、坂野学長をはじめ主だった先生方が出席され、同窓生と懇親を深められました。引き続き、学生活動奨励賞の授与式が行われ、今回は特別賞にミス百万石に選ばれた経済学部経営学科3年の木村美里さんが表彰されました。また、海外語学研修プログラム支援金として、目録が贈呈されました。その後、新理事の紹介や、遠方から来ていただいた各支部長や来賓の先生方よりご挨拶をいただく等、なかなか懇親会となりました。

平成24年度 全国大会出場

昨年度、全国大会に出場した
部活動を紹介します。

陸上競技部

6月22日⑤～24日⑥
天皇杯 第81回
日本学生陸上競技個人選手権大会
西本夏樹さん(2012年度卒)

空手道部

第56回全日本学生空手道選手権大会
組手の部

剣道部

7月7日④
第46回全日本女子学生剣道選手権大会
長塚美可子さん(人間科学部4年次)

軟式野球部

8月8日⑧～12日⑨
第35回全日本大学軟式野球選手権大会

硬式テニス部

平成24年度
全日本学生テニス選手権大会
大蔵圭祐さん(2012年度卒)

ソフトテニス部

第67回全日本ソフトテニス選手権大会
丸谷幸代さん(2012年度卒)

サッカー部

インディペンデンスリーグ2012
北信越代表校



平成24年度 在校生支援基金の協力者名簿

皆さまからのご協力ありがとうございます

津木河	西	小五	白坂	山大大	若金	宮浜	谷寿作	松北	若米上小	松藤林佐前荻岡杉石	森三中土高中安
田村上	野部	山十	敷井部	木野野	松木部	腰崎部	内時中	嶋村部	林崎野嶋部	田田久川原本森川	好本谷松田藤
佳道孝16	伸14	嵐13	洋12	紀千雅邦	茂清10	英9	明美正8	洋4	啓恵雅一3	憲秀千幸栄2	研仲利邦1
之明一	期一	期清	期一	之惠隆彦	夫隆	毅治	弘昭喜	茂人	一三司夫	二俊勉裕陽秋章子一	寿一明隆行雄至

宮古小	石	米小大	中澤	青	割	高	廿	北	則島佐	水	桃冲	武今	砺端谷杉	武木	山橋
本井附部	黒部	久谷濱部	尾部	島部	山部	部	日部	部	松部	野部	井津部	田井部	波保口原部	田谷部	中
翔裕卓38	達36	和秀34	章昌33	吉30	孝29	28	岩27	英24	敏敏	谷22	憲21	俊順20	宏清一19	慎義18	正昌17
悟人哉	也	淳俊司	紀臣	彦	司	誠	均	樹	文和仁	満	稔洋	彦一	成聡治誠	一徳	英和

内	畠	小	加	園	山	中	武	奥	根	小	中	高	福	長荒	山	釜	山	武加石
田部	部	舟部	藤部	部	本部	山部	藤部	谷部	井部	幡部	村部	木部	光部	田家	崎部	井部	田部	田護本
靖36	33	章32	弘29	和25	雅23	孝22	21	欣19	隆17	嘉16	信15	義14	義9	英良7	哲4	祥40	典裕39	
夫	修	生	道	浩	一	仁	太	浩	一	彦	次	弘	顕	直樹	雄	亮	子集樹	

在校生支援金 (1口)
2,000円
(1口以上何口でも可)

在校生支援基金の成果
平成24年度の支援として、平成25年度金沢星稜大学同窓会学生活動奨励賞を贈りました。平成25年度理事会後、懇親会にて学生活動奨励賞の授賞式が行われ、在学生を応援する機会として大いに盛り上がりました。

在校生支援基金のお願い
平成24年度在校生支援基金は多くの皆様の温かいご支援のもと、106件、311,800円のご寄付を頂きました。大変ありがとうございました。在校生支援基金は、在校生の皆様のスポーツ、文化、社会活動、留学生交流などにますますの活躍を期待し、物心両面から強固な支援をすることを目的としています。

つきましては、平成25年度におきましても、昨年同様、在校生支援基金に同窓会会員の皆様のご賛同、ご協力をいただきましたようお願いする次第です。

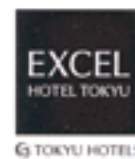
金沢星稜大学在学生が ミス百万石に 選ばれました！

本学経済学部経営学科3年次の木村美里さんが、2013ミス百万石に選ばれました。今後の目標と意気込みについてこれから金沢のことをもっと勉強して、金沢の観光親善大使として、各地で金沢の魅力をたくさん伝えたいです。2015年に長野・金沢間の北陸新幹線が開通し、東京から金沢までつながります。その時に、たくさんの方が金沢へ観光に来てくれるように頑張ります。応援よろしくお願いします！」と語りました。



会議、ご宴会、ウエディングのご相談承ります

お問い合わせは「宴会予約係」まで TEL 076-231-3912

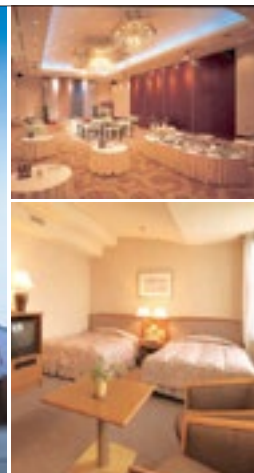


金沢 エクセルホテル東急

〒920-0961 金沢市香林坊2-1-1

Tel. 076-231-2411 Fax. 076-263-0154

<http://www.kanazawa-e.tokyuhotels.co.jp>



お孫さまへの「想い」を形にしませんか？

「教育資金贈与信託」 愛称：孫への想い **取扱中!**

※お申込金額:5,000円以上 1,500万円以下(1円単位)／お申込期間:平成27年12月25日まで／詳しくは窓口までお問い合わせください

うれしい! キャンペーン実施中

期間:平成25年4月1日(月)～9月30日(月)



金沢支店 〒920-0917 石川県金沢市下堤町10番地 0120-456-631

金沢中央支店 〒920-0869 石川県金沢市上堤町1番18号 0120-226-632

【電話受付時間】月～金曜日9:00～17:00(土・日、祝日はご利用いただけません)

680-13-018

.....同窓会各支部の活動.....

富山県支部 平成24年度 富山県支部定期総会・懇親会

富山県支部では平成24年度定期総会 懇親会を平成24年11月3日(祝)松原屋(富山県射水市)にて行いました。総会では、事業報告、決算報告、次年度までの事業計画(案)予算(案)が審議され承認されました。続いて役員改選では、新支部長に新原俊夫さんが選出されました。

総会后、懇親会が行われ今年も同窓生の絆を深めました。



富山県支部 大学OB対抗レガッタin世界遺産五箇山に参加

平成25年6月23日(日)第1回大学OB対抗レガッタin世界遺産五箇山が、富山県南砺市桂の桂湖ボート場で開かれ、金沢星稜大学富山県OBチームで参加しました。結果は5位でゴールしました。

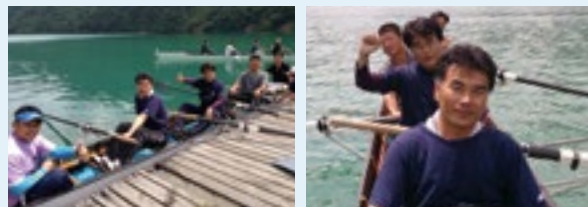
参加メンバーは来年も参加し順位も上げる目標を立てました。

併せて第9回南砺市民ボート大会「桂湖レガッタ」も行われ、県内外36チームが熱戦を繰り広げられました。

大学OB対抗レガッタは南砺市ボート協会(武田慎一会長・金沢星稜大同窓生)が競技人口の裾野を広げ、桂湖一帯の活性化につなげようと企画し第1回大会が行われました。

出場クルーはレースを通じて大学OBとしても親ぶくを深めました。

参加者は、武田、中谷、渡辺、本保、森の5名(写真)。



平成25年度 富山県支部総会・懇親会のお知らせ

金沢星稜大学同窓会富山県支部では今年平成25年も11月3日 日曜日(祝・文化の日) 射水市の松原屋にて富山県支部総会・懇親会を開催いたします。同窓生の皆様のご出席をお待ちいたしております。(連絡先 新原 俊夫 0766-22-4308)

第27回金沢星稜大学同窓会 ゴルフコンペ開催!

11月3日(土・祝)に金沢セントラルカントリー倶楽部に於いて第27回金沢星稜大学同窓会ゴルフコンペを開催いたしました。

当日は曇りから雨模様となりコンディションはイマイチでしたが同窓生15名と稲置学園同窓会会長 園田新午さんを交えた16名で、にぎやかなプレーがおこなわれました。

初参加2名も加わりOBとしての交流の「絆」を築く良い機会となりました。

成績結果表		GROSS	HDCP	NET
優勝	山森 健	74	4.8	69.2
準優勝	川畑 雅之	76	4.8	71.2
第3位	川本 一義	83	10.8	72.2

▶ 次回の案内希望等あれば 幹事 川本(090-8880-2260)

5年目の夏! ありがとう
そしてこれからもよろしくお願いいたします。

— ご婚礼・ご宴会のご予約承り中 —



〒920-0849 金沢市堀川新町1番1号
TEL (076) 223-1111(代表) FAX (076) 223-1110



<http://www.hotelkanazawa.co.jp/>